

栃木県私立高等学校調査書記入要領

栃木県中学校長会

- 1 「第一志望学科名（専攻・コースを含む。）」は、出願先高等学校の募集要項等により正確に記入する。
第二志望学科以下については、入学願書に記入する。
- 2 「志願者氏名」は、生徒指導要録の記載どおりとする。
- 3 「志願者氏名」欄の右の男・女の性別を○で囲む。また、卒業見込または卒業の該当を○で囲み、その年を記入する。
- 4 「各教科の学習の記録」の記入に当たっては、次の要領によるものとする。
 - (1) 第1、2学年の評定は、生徒指導要録の記載どおり5段階評定で記入する。
 - (2) 第3学年の評定は、第1学期の評定も加味しながら、第2学期末として5段階評定で記入する。
なお、2学期制を採る学校にあっては、前期の評定を基にその後の活動状況を配慮して5段階で評価する。
 - (3) 選択教科については、教科名を教科欄に記入し、該当する学年欄にA・B・Cの3段階評定で記入する。
(5段階評定でもよい。)
- 5 「総合的な学習の時間の記録」の記入に当たっては、中学校学習指導要領に示された二つのねらいを踏まえ、生徒にどのような力が身に付いたかを文章で簡単に記入する。例えば、「環境問題に積極的に取り組んだ」など。
- 6 「特別活動等の記録」の記入に当たっては、次の要領によるものとする。
 - (1) 学級活動、生徒会活動、学校行事については、生徒指導要録の観点を踏まえ、3か年間の活動状況全般を見通しながらも最終学年を重視して、活動状況が特筆するに値すると判断できるものについて具体的に記入する。また、部活動についても該当がある場合は記入する。例えば、生徒会長、学級委員長、サッカー部長 など。
 - (2) 特別活動等の「等」については、学校外で活躍した文化活動、スポーツ活動、社会活動、特技等について、活動状況が特筆するに値すると判断できるものについて具体的に記入する。例えば、ふるさと運動のリーダー、○○作品コンクール優秀賞、○○大会第3位など。
- 7 「行動の記録」の記入に当たっては、次の要領によるものとする。

生徒指導要録の行動の記録中の6項目について、生徒の行動が十分満足できる状況にあると判断される項目に◎印を、おおむね満足できる状況にあると判断される項目に○印を記入する。その他の場合は空欄とする。
- 8 「欠席・遅刻の記録」の記入に当たっては、次の要領によるものとする。
 - (1) 第1、2学年の欠席日数については、生徒指導要録の記載どおりとする。なお、第3学年の欠席日数については、出願先高等学校に出願する月の前月末までの欠席日数を記入する。
 - (2) 欠席の主な理由については、欠席日数が7日以上の場合に主な理由を具体的に記入する。
 - (3) 遅刻回数については、各中学校が定めた遅刻認定基準に照らして、その回数を記入する。
 - (4) 遅刻の主な理由については、遅刻日数が7日以上の場合に主な理由を具体的に記入する。
- 9 「健康状況」の記入に当たっては、受験の際または進学後において特に配慮すべき事項がある場合に具体的に記入する。
- 10 「特記事項」の記入に当たっては、趣味・特技や人物について、他の欄に記入できない事項や内容について具体的に記入する。
- 11 記入事項のない欄には／印を記入する。